

令和8年度 大田区立相生小学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

令和8年9月2日

開校は大正15年、今年で101年目を迎える歴史と伝統のある学校である。学級数11、児童数262名である。 【教育目標】 ◎国際社会の中で未来を切り拓く 相生の子 ○すすんで学ぶ子 ○ともに生きる子 ○たくましい子 【めざす学校像】 ○すべての教育活動を通して、一人一人の命と健康を大切に、安心して学び合える学校 ○こどもが生き生きと学校生活を楽しめる学校 ○こどもも教職員も学び合う学校 ○保護者・地域との連携を大切に、信頼される学校 【めざすこども像】 ○すすんで学ぶ子…◆主体的に学び、自ら課題を見つけ、考え続けられる子 ◆伝えあい、学びを深める子 ○ともに生きる子…◆思いやりをもち、多様な人と関わる子 ◆協働し、よりよい関係を築く子 ○たくましい子…◆心身ともに健康で粘り強い子 ◆困難に挑戦し、やり抜く子
○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標		成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄						
									評価	人数	コメント				
生予個 き測 る困 目力 難標 をな 1育 未成 来社 会を 創 造 的 に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。 ○区独自教科「おおたの未来づくり」 5年「校内ピクトグラムをつくろう」等 6年「国際ステーション～困っていることを解決しよう～」 ○1～4年「おおたの未来づくり素地作り」	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		4:				4						
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。												
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。												
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。 ○キャリア教育 町探険・レゴ・ドローン・仕事を知ろう等 ○移動教室(伊豆・とうぶ) ○学校行事(音楽会・運動会・相生フェス)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		3:				3						
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。												
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。												
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。 ○タブレット端末を活用した授業 電子黒板やクロムブック等 ○情報活用能力の育成 インターネットと検索・タイピング・プレゼンテーションソフトを使った発表 ○情報モラル教育	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		2:				2						
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。												
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。												
										1:		1			

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄							
								評価	人数	コメント					
お世 お界 たと 目 をつ 標 担な 2 うが 人 材 国 を 際 育 都 成 市 し ま す	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。 ○外国語活動・指導員(ALT)の配置 1・2年生・・・年間25時間 3・4年生・・・年間35時間 5・6年生・・・年間70時間 英語カフェ(休み時間) イングリッシュキャラバン	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			4:			4						
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。												
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。												
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。 ○人権教育 ○社会科副読本「わたしたちの大田・東京」の活用 →社会科(3・4年)の授業におけるの活用 ○留学生との交流	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			3:			3						
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。												
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。												
		③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。 ○SDGs →家庭科、社会科、総合的な学習の時間の授業において意味や17の目標で取り組めることについて考える。 ○ボランティア活動(ユニセフ募金等)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			2:			2						
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。												
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。												
						1:			1						

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄		
								評価	人数	コメント
た一個 め人別 のひ目 基と標 礎り3 とがな 個 る性 力とを 能 育力 成を し発 ま揮 する	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。 ○道徳地区公開講座 ○生命尊重週間 ○朝の読み聞かせ ○ニッセイ劇場(4年) ○音楽鑑賞教室(5年) ○こころの劇場(6年)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		4:			4		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべての子どもに確かな学力の育成を図っている。 ○大田区学習効果測定(4～6年) ○学習力カウンセリング ○習熟度別少人数指導 ○補習教室(2～6年生)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		3:			3		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
		③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。 ○体力調査結果の分析による体育授業の改善 ○健康教育 →早寝早起き朝ごはんの取り組み ○食育指導 →グリーンピース皮むき体験(1年)、サツマイモ栽培(2年)、給食指導、生活科、家庭科において食に関する授業を行う。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		2:			2		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。 ○保幼小連携 →交流授業・就学前の引継ぎ ○1年生への支援員の配置 ○保幼小連携運動遊び指導者研修会 →夏季休業中に研修に参加 ○小中一貫教育 →就学前の引継ぎ 御園中と道塚小との授業参観	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		1:			1		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標		成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄		
									評価	人数	コメント
学 個 校 別 力 目 ・ 標 教 4 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。 ○ICTを活用した授業 →ICT研修 ○教科担任制 →全学年で実施 ○専属配置 →外国語(5・6年生)音楽(1～6年生) 園工(1～6年生)家庭科(5・6年生) 少人数算数(1～6年生) ○授業力向上に向けた研修の充実 →授業力や指導力向上を図るためのOJT研修の実施	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		4:				4		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。 ○情報発信 →ホームページ・学校だより tetoru等 ○職層に応じた校務分掌 →次年度への引継ぎや職層を考慮した人事配置	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		3:				3		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。 ○支援員の配置 ○ICTを活用した事務の効率化 ○会議の精選 ○産育休制度の改善	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。		2:				2		
			3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。								
			1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。								
										1:	

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標		成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄							
									評価	人数	コメント					
た自個 め分別 のら目 学し標 びく5 をい 支き 援い しき と生 きる	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えらるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員や行政機関との連携等を行っている。 ○サポートルームとの連携 ○特別支援研修 ○特別支援学校との副籍交流 ○日本語指導	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			4:			4							
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。													
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。 ○学級集団調査WebQU →クラスの状況把握の為の調査(年2回) ○いじめの早期発見・早期対応 →児童アンケート ○校内の居場所づくり →教室で過ごすことができない児童に対する居場所の確保(ペンギンルーム) ○ケース会議 →必要に応じて、会議を適宜設置	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。						3:					3		
			3:80%以上100%未満の教員が回答した。													
			2:60%以上80%未満の教員が回答した。													
			1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。													
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。 ○スクールカウンセラーによる支援 ○外国籍児童への教育 →日本語指導教員の要請	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。						2:					2		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。													
					1:	1										

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標		成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄		
					評価	人数			コメント		
個性・柔軟な目標設定を促す環境を学ぶ空間と安全・安心	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。 ○校内防犯体制の充実 →避難訓練等で教員の行動を確認 ○学校給食における食物アレルギー対応 →アレルギー対応児童を共有、栄養士との連携 ○校内環境整備 ②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。 ○防犯・防災教育 →月に1回の避難訓練を実施 ○交通安全指導 →学級で登下校の歩き方等の指導 ○警察と連携した不審者対応訓練 ③タブレットの入れ替え等を行うとともに、タブレットのルールの見直しを図った。 ○タブレットの振り返りシートの活用 →学期に1回タブレットの使い方を振り返る ○教員のICT活用研修	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		4:			4			
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3:	3						
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	2:		2					
				1:							1

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標		成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄		
									評価	人数	コメント
学地学個 校域校別 をコ・目 つミ家標 くユ庭フ リニ・ まテ地 すイ域 の核運 と携して 協働による	地域コミュニティ の核としての学 校づくりや地域の 特色を生かした 学校づくりを進め るとともに、学校・ 家庭・地域が連携・ 協働して、地域社会 全体で子どもたちを 育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。 ○学校運営協議会による熟議 ○コミュニティ・スクール相生として地域と連携した活動の充実 ○地域との連携 →登下校の見守り等 「おおたの未来づくり」における連携	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		4:				4		
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		②校庭朝遊びや登下校の見守り活動などの、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。 ○地域の見守り →登下校の見守り 朝のウォーミングアップタイム ○通学路における安全点検 →担任による児童の通学路確認	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		3:				3		
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。 ○PTAとの連携 →行事におけるPTAの協力 夏休みの遊び場(居場所づくり) ○保護者対象の講演会 →道徳地区公開講座	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		2:				2		
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		④夏休みには地域の方の協力を得て、わくわくスクールや行事を行い、地域と共に健全育成に努めている。 ○夏のわくわくスクールの実施 →地域と協力して健全育成に努めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		1:				1		
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す